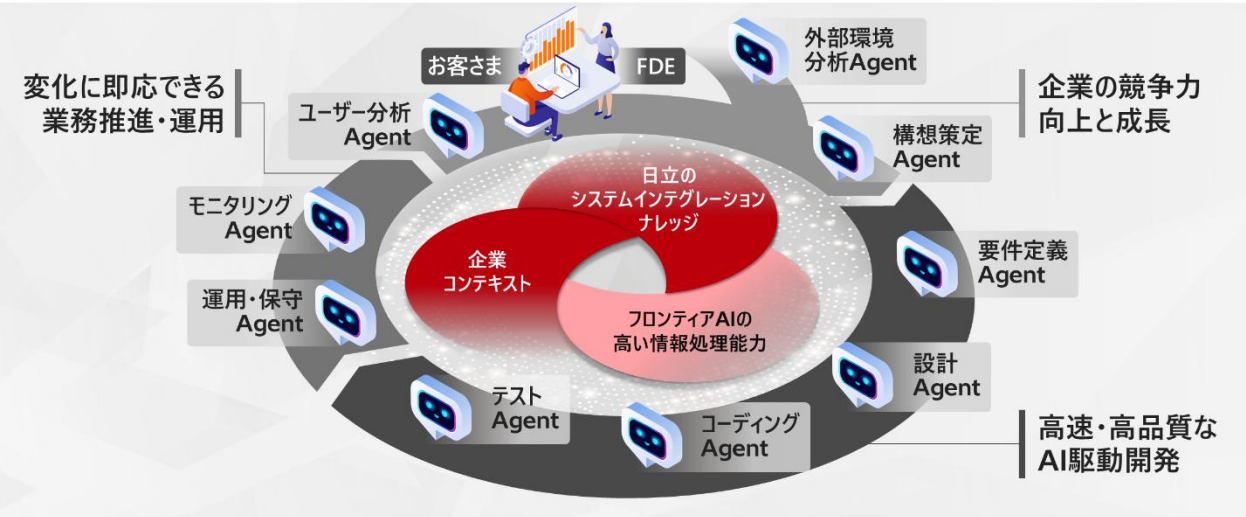
2026 年 7 月 24 日
株式会社日立製作所

# AI 駆動型のエンタープライズ向けシステムインテグレーションプラットフォームを開発、安全性を高め生産性を飛躍的に向上

- ミッションクリティカルシステムで培った日立のナレッジとフロンティア AI を融合した「Agentic AI Integration Platform」により、設計からテスト工程で約 200 倍[*1]の生産性を実証。ミッションクリティカルな大規模システムプロジェクトへの適用を推進、2027 年度に工程全体で生産性 30％向上を実現
- お客さま固有の業務知識・判断基準などの暗黙知を「企業コンテキスト」として蓄積。AI エージェントのフィードバックにより、自律的に高度化するサイクルを確立。安全性を確保しながら開発期間を短縮し、事業変革を迅速化
- FDE(Forward Deployed Engineer)チームがお客さまの構想策定・開発・運用の現場に入り込み、AI Transformation Partner としてお客さまの競争力向上と持続的な企業成長に貢献

株式会社日立製作所(以下、日立)は、深刻化する熟練エンジニア減少などの社会課題に応え、お客さまの AI トランスフォーメーション(AX)を加速するため、エンタープライズ向けシステムインテグレーションの全工程に AI を全面適用する「Agentic AI Integration Platform」(以下、本プラットフォーム)を開発しました。外部環境分析や構想策定から要件定義、設計、コーディング、テスト、運用の工程ごとに最適な AI エージェントを組み込んだ本プラットフォームにより、AI 駆動型のシステムインテグレーションを実現し、安全性を確保しながら飛躍的に生産性を向上させます。

日立は、約 15,000 のお客さまシステムのインストールベース、および長年の運用保守で培った経験を生かしながら、拡大するモダナイゼーション需要に対して全面的に本プラットフォームを適用し、2027 年度に工程全体で生産性 30％向上を実現します。これにより開発期間が短縮されるだけでなく、リソースを新たな価値創出へとシフトさせ、変化の激しい事業環境への迅速な対応と抜本的な事業変革が可能となります。今後、大規模なレガシーシステムを有する金融・公共分野やエネルギー・鉄道など社会インフラへも適用し、システムの継続的な進化を通じて、お客さまの競争力向上と持続的な成長に貢献していきます。




日立の AI 駆動型システムインテグレーションプロセス

本プラットフォームは、グローバルのパートナーシップにもとづくフロンティア AI[*2] と、日立グループが培ってきた IT および OT(制御・運用技術)双方のミッションクリティカルなシステムインテグレーションのナレッジ、GlobalLogic などが有する AI 技術を融合し、適材適所で組み合わせることができるものです。

AI を活用し高難度の課題を迅速に解決する FDE チームが、本プラットフォームを活用しながら、お客さまの構想策定・開発・運用の現場に入り込み、伴走します。モダナイゼーションのプロセスを通じて、経営意図や業務知識、判断基準などお客さま固有の暗黙知を含めた「企業コンテキスト」を形式知化し、AI Readable なナレッジとして蓄積していきます。さらに、AI エージェントが構想策定・開発・運用のサイクルを実行するたびに、各工程で得られた新たなフィードバックやノウハウを学習し、「企業コンテキスト」を自律的にアップデートすることで、システムインテグレーションの品質や生産性を継続的に向上させ、持続的な企業価値向上に貢献します。日立は、人と AI が協働するこれらの取り組みを通じ、FDE が中心になり、AI Transformation Partner としてお客さまの事業変革に継続的に寄り添うことで、AI で社会インフラを革新する次世代ソリューション群「HMAX by Hitachi(以下、HMAX)」の展開を加速し、社会に新たな価値をもたらしていきます。

*1 当社内における特定の工程・条件下での実証値であり、効果はプロジェクトの規模・特性により異なります。

*2 フロンティア AI: 最高水準の能力・規模・性能を持つ大規模 AI モデルを活用することで、幅広い分野の課題に対応できる汎用性と、極めて高い計算処理能力を実現した最先端の AI のこと。日立は自社での LLM 開発は行わず、グローバルでのパートナーシップを通じて、常に最先端の AI モデルを柔軟に選択できる環境を整備している。

**背景**

現在、深刻化する熟練のエンジニア減少などの社会課題や、既存システムの複雑化・ブラックボックス化、絶えず激しく変化する世の中のニーズへの迅速な対応などお客さまが抱えるシステム課題は増大しています。

日立は、長年、ミッションクリティカルシステムを支えてきたナレッジをもとに 2002 年に「Hitachi Application Framework Justware」を確立して以降、金融や公共、社会インフラ分野の 200 以上の大規模プロジェクトにおいて、システム開発・運用の高い品質と安全性を実現してきました。また、近年の生成 AI 技術の進展に対しては、独自の生成 AI 活用開発フレームワーク「Hitachi GenAI System Development Framework」を整備し、ソースコード生成やコードレビュー、単体テストを一気通貫で実現するなどミッションクリティカルなシステム開発の効率化に貢献してきました。例えば、MS&AD システムズ株式会社とは、保険分野の基幹システム開発のコーディング・単体テスト工程において約 25%の生産性向上を実証しています[*3]。また、株式会社静岡銀行、静銀 IT ソリューション株式会社とは、ミッションクリティカルなオープン勘定系システム開発のコーディングと単体テスト工程において約 30%の生産性向上を実証し、実適用を進めています[*4]。こうした先行案件における積極的な AI 活用により、日立のシステム開発における AI 活用率はすでに 60%を超える水準に到達しています。

今回、発展が著しいフロンティア AI への期待の高まりを受けて、日立は、従来のコード生成など一部工程での AI 適用をプロセス全体へと拡張し、システムインテグレーションを AI 駆動型へと進化させる本プラットフォームを開発しました。

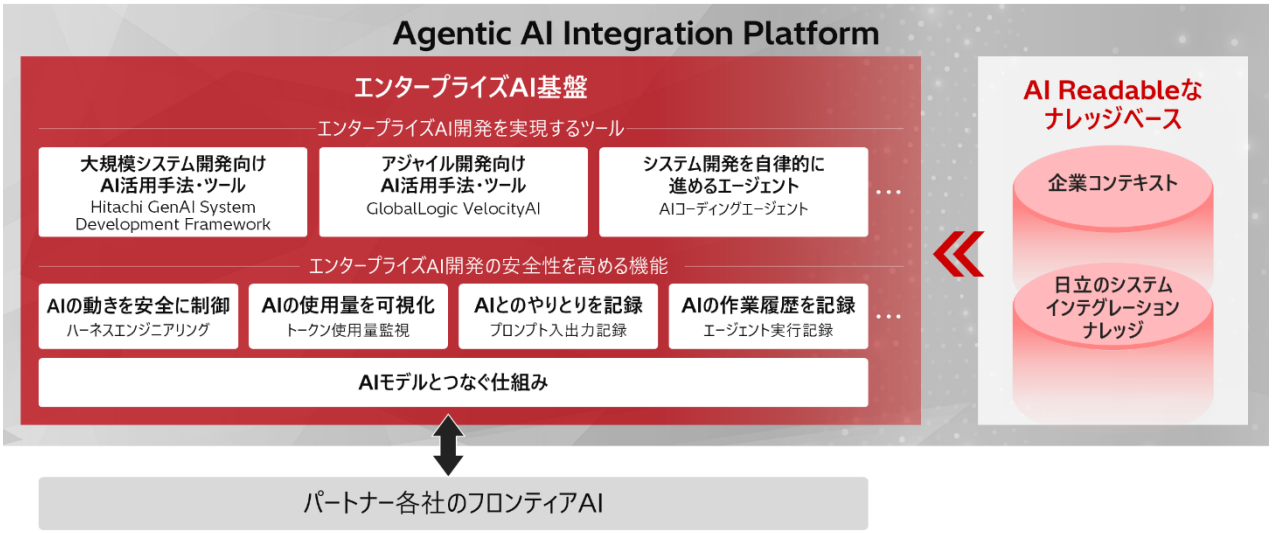
*3 2025 年 12 月 17 日プレスリリース MS＆AD システムズと日立、保険分野のミッションクリティカルなシステム開発へ生成 AI を本格適用する取り組みを開始：日立

*4 2024 年 10 月 15 日プレスリリース 静岡銀行、静銀 IT ソリューション、日立が、ミッションクリティカルなオープン勘定系システム開発への生成 AI 適用の実用化に向けた技術検証を開始：日立

**Agentic AI Integration Platform の特長**

フロンティア AI の柔軟な選択や AI 開発の安全性を高める機能をもつエンタープライズ AI 基盤と、業務知識や判断基準が蓄積する AI Readable なナレッジにより、大規模かつ複雑なシステムインテグレーションを AI 駆動型へと変革し、品質と生産性を飛躍的に向上させます。すでに、カスタマーゼロとしての社内実績において、以下の生産性向上の効果を確認しています。

・要件定義：OT 領域の実務者と IT 部門がシステム画面仕様を確定する作業で最大 240[*1] 倍
・設計～テスト：自社パッケージ製品の機能拡張を対象とした仕様駆動開発の試行で約 200[*1] 倍



Agentic AI Integration Platform の仕組み

### Agentic AI Integration Platform の提供価値

（1）AI 開発の安全性向上とコスト最適化を実現するエンタープライズ AI 基盤

Anthropic[*5]、Google Cloud[*6]、OpenAI[*7] などの先進的で高い情報処理能力を有するフロンティア AI の柔軟な選択が可能なエンタープライズ AI 基盤を整備しています。この基盤には、大規模システム開発向けの「Hitachi GenAI System Development Framework」やアジャイル開発に適した GlobalLogic の「VelocityAI」といったエンタープライズ AI 開発を実現するツールや、セキュリティ・コスト・信頼性などを管理統制する機能があるため、AI 開発の安全性を向上しコストも最適化できます。実際に、「VelocityAI」との連携環境では、AI 単体での利用比でトークン利用料を最大 54%[*1] 削減するなど、運用面の効果も確認しています。

（2）AI Readable なナレッジベースを基点としたサイクルの自律的な進化を実現

お客さま固有の経営意図や業務知識、判断基準などの暗黙知を形式知化した「企業コンテキスト」と日立のミッションクリティカルシステムで培った「システムインテグレーションナレッジ」を AI がスムーズに活用できる AI Readable なナレッジベースを整備します。お客さまのモダナイゼーション支援を通じて、構想策定・開発・運用のサイクルを回しながら、各工程の AI エージェントがプログラムソースやドキュメント群にとどまらず、「企業コンテキスト」や「システムインテグレーションナレッジ」を自動的にナレッジベースに蓄積し、プラットフォームの自律的な進化を実現します。これにより、ミッションクリティカル領域でも安心して AI 駆動型のインテグレーションを適用することが可能となります。

（3）プラットフォームの高度化

高い信頼性が求められる OT 領域への適用に向けて、制御システム独自の仕様を前提とし、Anthropic の Claude や OpenAI の最新モデルに対応した OT 独自のコード生成基盤を構築し、社内での試行を開始しています。さらに、企業のレガシーインフラ刷新や運用変革への本プラットフォーム適用を本格化し、パートナー各社との連携を通じフロンティア AI を活用しながら継続的に高度化することで HMAX の展開を強力に推進していきます。

*5 2026 年 5 月 19 日プレスリリース 日立、Anthropic と戦略的パートナーシップを締結し、先進的な AI の活用により Lumada 3.0 を強化：日立
*6 2026 年 6 月 9 日プレスリリース 日立と Google Cloud、FDE によるフィジカル AI の社会実装とセキュリティ領域での戦略的アライアンスを拡大：日立
*7 2026 年 6 月 17 日プレスリリース 先進 AI を活用したモダナイゼーションの加速とサイバーセキュリティ強化に向けて OpenAI との連携を本格化：日立

**お客さまからのコメント(五十音順に掲載)**

**ＭＳ＆ＡＤインシュアランスグループホールディングス株式会社 専務執行役員 CIfO CISO　津田 卓也氏**

金融業界を取り巻く環境はかつてないスピードで変化しており、事業戦略と IT 戦略を一体で推進することが、企業価値向上の重要な鍵となっています。そうした中、日立が発表した「Agentic AI Integration Platform」は、システム開発・運用の生産性向上にとどまらず、企業の変革力そのものを高める可能性を持つ取り組みであると考えています。特に、複数の AI エージェントが連携しながら品質確保や知見継承を支援するアプローチは、将来的な人材不足や技術継承といった業界共通の課題解決にも寄与するものと、大いに注目しています。金融システムに求められる高い信頼性を前提に、AI 活用の新たなモデルとして今後の発展を期待しています。

**共栄火災海上保険株式会社 執行役員 情報システム部長 大條 正之氏**

当社では、基幹システム刷新プロジェクト「SX2030」を通じて、将来にわたり安定的かつ柔軟に進化できるシステム基盤の構築を進めています。保険業務は高い信頼性と安全性が求められるミッションクリティカルな領域であり、開発・運用の高度化と品質確保の両立が重要な課題です。日立が長年培ってきた金融分野におけるシステム構築の知見と、AI エージェントを活用した先進的なアプローチは、システム開発の生産性向上のみならず、継続的な業務変革とお客さまへの価値提供のさらなる加速につながるものと期待しています。今後も当社は、日立とのパートナーシップのもと、AI を活用したシステム開発・運用の高度化に取り組み、お客さま本位のサービス向上と持続的な企業価値向上をめざしてまいります。

**株式会社ジェーシービー 上級執行役員 システム本部長 中田 一朗氏**

JCB では、システム開発力は事業競争力に直結すると考えており AI エージェントの活用を積極的に推進しています。現在、日立のご協力のもと、生成ＡＩ活用開発フレームワークを活用した業務アプリケーション開発の生産性向上に取り組んでいます。今回、AI 駆動開発を可能にする「Agentic AI Integration Platform」は、フロンティア AI の能力を最大限活用できる点に加え、Agent Skills やノウハウの活用・展開により一貫した支援を受けられる点に大きな期待を寄せています。

**株式会社静岡銀行 執行役員 松本 健司氏**

当行では、第 2 次中期経営計画にシステム開発の倍速化施策(整備済のシステム基盤、内製化に向けた開発体制に AI 等の技術を掛け合わせ、開発生産性を向上・スピードアップ)を掲げ、商品・サービス提供のお客さまニーズへの迅速な対応と収益機会の最大化や、業務改革の倍速化による業務生産性向上への貢献をめざしています。ミッションクリティカルシステムで培ったナレッジと、フロンティア AI を融合した「Agentic AI Integration Platform」により、施策実現が加速することを期待しています。

**株式会社みずほフィナンシャルグループ 執行役員 グループ副 CIO 相原 寛史氏**

金融機関のシステムには、高い信頼性を確保しながら、変化し続ける制度や事業環境へ迅速に対応していくことが求められます。ミッションクリティカルな領域において高い品質要求と開発スピードの両立という長年の課題に対し、日立が金融サービスで培ったノウハウとフロンティア AI と融合した「Agentic AI Integration Platform」は、安全かつ高速なシステム開発を可能にするものと大いに期待しています。

**Hitachi Social Innovation Forum 2026 JAPAN での紹介について**

日立の AI 駆動型システムインテグレーションの取り組みについては、2026 年 9 月 3 日(木)～4 日(金)に開催する「Hitachi Social Innovation Forum 2026 JAPAN」において、ご覧いただけます。展示会場のブース「EX11: モダナイゼーション powered by Lumada」での出展に加え、9 月 3 日(木)13：30 からのエキスパートセッション「ES01-03: AI 前提の経営変革を加速する実践的モダナイゼーション」の中でご紹介する予定です。

詳しくは、公式サイト(https://www.service.event.hitachi/regist/)をご覧ください。

**関連リンク**

日立のモダナイゼーション

HMAX｜Lumada

**商標注記**

記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

**日立製作所について**

日立は、IT、OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用した社会イノベーション事業(SIB)を通じて、社会インフラをデジタルで革新し続けるグローバルリーダーをめざし、環境・幸福・経済成長が調和するハーモナイズドソサエティの実現に貢献します。デジタルシステム&サービス、エナジー、モビリティ、コネクティブインダストリーズの 4 セクターに加え、新たな成長事業を創出する戦略 SIB ビジネスユニットの事業体制でグローバルに事業を展開し、Lumada をコアとしてデータから価値を創出することで、お客さまと社会の課題を解決します。2025 年度(2026 年 3 月期)売上収益は 10 兆 5,867 億円、2026 年 3 月末時点で連結子会社は 606 社、全世界で約 29 万人の従業員を擁しています。詳しくは、www.hitachi.com/ja-jp/をご覧ください。

**お問い合わせ先**

株式会社日立製作所

AI&ソフトウェアサービスビジネスユニット

お問い合わせフォーム

https://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/